



稲毛区支え合いのまち推進計画

第5期稲毛区地域福祉計画 令和4(2022)～8(2026)年度

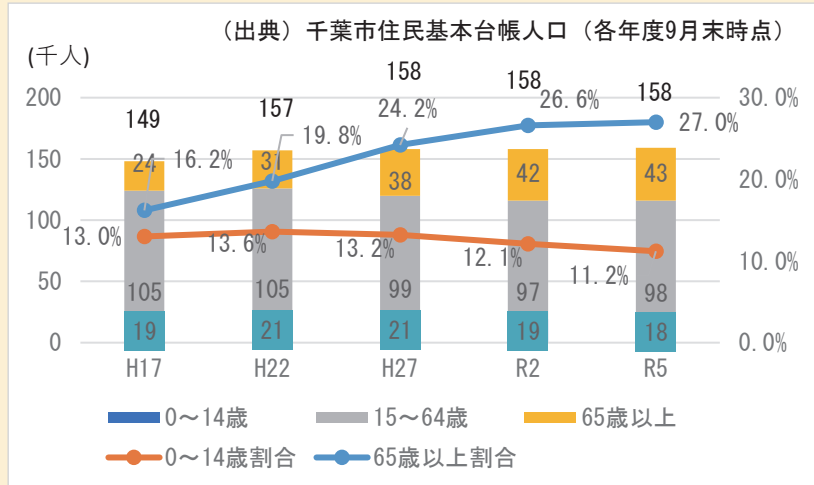


1 区の現状

(1) 少子・高齢化等の状況

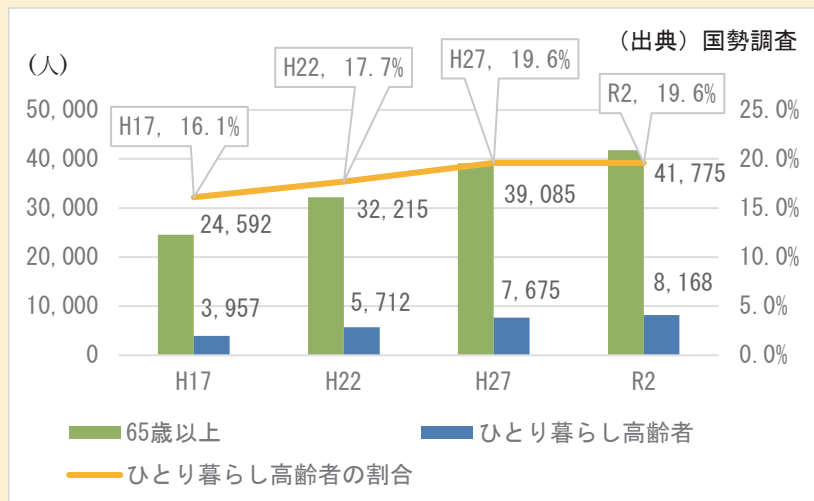
① 区内人口の推移

15歳未満人口が減少する一方、65歳以上人口の増加は続いており、少子・高齢化が進んでいます。



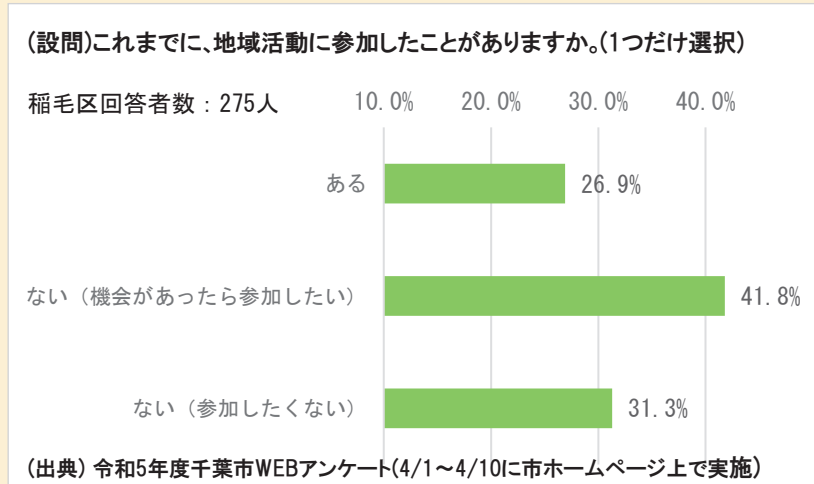
② ひとり暮らし高齢者数の推移

ひとり暮らし高齢者が増加しており、それに伴って、全高齢者に占めるひとり暮らし高齢者の割合も増加しています。



(2) 地域活動の参加状況

まず、地域活動に参加をいただける人を広げるため、機会があったら参加したい人（WEBアンケートでは、41.8%）に実際に参加してもらい、さらに参画までつなげる必要があります。



(3) 区内の主な地域団体

① 社会福祉協議会地区部会

地区部会名
小中台東地区部会、山王地区部会、轟・穴川地区部会、稲毛地区部会、稲丘地区部会、 千草台中学校地区部会、草野地区部会、緑が丘地区部会、 301（作草部・天台）地区部会、緑・黒砂地区部会、小中台西地区部会

② 町内自治会連絡協議会

(令和5年7月31日現在)

地区	団体数	世帯数
小中台中学校区（第6地区）	47団体	10,452世帯
轟町中学校区（第15地区）	27団体	4,972世帯
稲毛中学校区（第19地区）	22団体	7,625世帯
千草台中学校区（第20地区）	8団体	4,135世帯
草野中学校区（第25地区）	21団体	5,801世帯
山王中学校区（第37地区）	11団体	3,843世帯
都賀中学校区（第39地区）	16団体	2,546世帯
緑が丘中学校区（第41地区）	28団体	5,969世帯
緑町中学校区緑・黒砂（第49地区）	7団体	3,844世帯

③ 民生委員児童委員協議会

地区名	学校区名	定数	地区名	学校区名	定数
301	都賀中学校地区	18人	307	稲毛中学校地区	19人
302	緑町中学校地区	19人	308	稲毛中学校地区	16人
303	小中台・稲毛中学校地区	16人	309	千草台中学校地区	19人
304	小中台・千草台・ 緑が丘中学校地区	22人	310	草野・犢橋中学校地区	29人
			311	緑が丘中学校地区	25人
305	山王・犢橋中学校地区	22人	312	小中台・朝日ヶ丘 中学校地区	10人
306	轟町中学校地区	27人	313	小中台・稲毛中学校地区	17人

2 区の課題

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応に関すること

新型コロナウイルス感染拡大への対応のため、イベントをはじめとする地域活動が大幅に縮小してしまいました。また、ひとり暮らしの高齢者など、地域の中で孤立する方々の健康面の不安も増加しています。感染予防に配慮しつつも、新しい生活様式に合わせた活動を進めていくことが必要となっています。

(2) 担い手に関すること、日常支援等に関すること

ひとり暮らしの高齢者は引き続き増加しており、地域の中で声かけや見守りなどの活動を継続していくための担い手の拡大や、ゴミ出しや買い物などの日常的な支援が必要とされています。また、家庭の中でも、経済的困難や介護の負担など様々な問題が生じており、地域の中から適切な支援につながる取り組みが必要となっています。

(3) 風水害などの災害対応に関すること

近年、令和元年の台風をはじめ、地震・大雨などの災害が多発していることから、その備えを進めることが、必要不可欠となっています。

3 基本目標

「みんなで支え合い、安心して暮らせる^{まち}稲毛をめざして」

～心のバリアフリーから始まる“地域発”の取り組み～

この基本目標は、2006（平成18）年の第1期計画策定当初から変わらずに掲げる、稲毛区の目指すべき将来像であり、第5期計画においても継続をいたします。

4 基本方針

稲毛区の目指すべき将来像である基本目標を達成するため、3つの基本方針を定めます。この基本方針は、これまでの計画のものを引き継ぎつつ、区の課題を踏まえた見直しを行いました。

《基本方針1》 みんなの様々な居場所と健康づくり

高齢者をはじめ、誰もが地域の中で健康でいきいきと過ごせる場づくりを進めます。

《基本方針2》 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり

地域の中であいさつができる顔の見える関係から、担い手を拡大し、支え合い、助け合う取り組みを進めます。

《基本方針3》 災害などに備えた安全・安心なまちづくり

安全・安心なまちづくりとして、日ごろから緊急時等に備えた取り組みを進めます。

5 取組内容一覧

《基本方針1》 みんなの様々な居場所と健康づくり

施策の方向性		具体的な取組み	
(1)	誰もが立ち寄ることができる場づくりを進める	①	地域の資源を活かした居場所づくり 《活動事例》 ・地区部会が町内自治会や福祉施設等と連携・協力し、町内自治会館や公民館、福祉施設等において、気軽に集える居場所（サロンなど）を拡充します。 ・NPO法人や地区部会、民生委員児童委員協議会等の地域関係者が連携・協力し、子どもや幅広い世代が気軽に集える子ども食堂や地域食堂、コミュニティカフェ等の居場所づくりに努めます。 ・地区部会や民生委員児童委員協議会、福祉施設等が連携・協力し、要支援者（認知症の方、要介護者、障害者等）であっても参加できる地域の居場所づくりに努めます。 ・地域で活動する団体やグループ等が、身近な地域での新たなつながりに向けて、地域資源を活かした多世代の居場所づくりに取り組みます。また、多様な地域資源や希望する居場所を結びつけるワークショップ等にも取り組みます。
			重点取組地区 (地区部会エリア) ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○草野地区部会 ○緑・黒砂地区部会
(2)	誰もが地域で元気に過ごせる健康づくりを進める	②	健康づくりや介護予防の普及・啓発 《活動事例》 ・地区部会があんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、地域住民に対して健康づくりや介護予防の情報提供を講座やサロン活動などを通じて行い、普及啓発を図ります。 ・地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが相互に連携・協力し、幅広い世代に向けて、いきいきサロンや地区運動会、グラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキングなどを実施することで、健康面の不安や孤立を解消し、社会とのつながりを図りながら、健康増進に取り組みます。 ・シニアリーダーが、高齢者に対して介護予防の普及・啓発を図るため、「シニアリーダー体操」を実施します。
			重点取組地区 (地区部会エリア) ○小中台東地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○緑・黒砂地区部会

《基本方針2》 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり

施策の方向性		具体的な取組み			
(1)	お互いを知り、コミュニケーションを増やす	③	<p>あいさつから始まる地域との関わり</p> <p>《活動事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校セーフティウォッチャー、地区部会や町内自治会などが協力し、児童・生徒の登下校時に通学路や学校周辺においてあいさつ運動を実施し、顔なじみの関係づくりに取り組みます。 地区部会や町内自治会、各種団体がイベント・行事や防犯パトロールなどの地域活動を行う際、積極的に住民同士のあいさつ・声かけを行い、顔なじみの関係づくりに取り組みます。 <table border="1"> <tr> <td>重点取組地区 (地区部会エリア)</td> <td>○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○緑が丘地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会</td> </tr> </table>	重点取組地区 (地区部会エリア)	○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○緑が丘地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会
		重点取組地区 (地区部会エリア)	○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○緑が丘地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会		
④	<p>地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み</p> <p>《活動事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、必要な感染防止対策を行ったうえでイベント（祭りや地区運動会、敬老会など）を開催することで、地域のつながりを活性化し、幅広い世代間交流を図ります。 地区部会や民生委員児童委員協議会、福祉施設等が連携・協力し、世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 地域の各種団体が相互に連携・協力し、広報紙やSNS、口コミ等を通じて幅広い世代の参加促進を図ります。 <table border="1"> <tr> <td>重点取組地区 (地区部会エリア)</td> <td>○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会</td> </tr> </table>	重点取組地区 (地区部会エリア)	○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会		
重点取組地区 (地区部会エリア)	○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会				
(2)	地域での連携・協力による支援と見守りを進める	⑤	<p>地域で活動している人・組織同士の連携・協力</p> <p>《活動事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動にあたっては、地区部会、町内自治会、民生委員、児童委員、老人クラブ、あんしんケアセンター、障害者基幹相談支援センター、学校、社会福祉事業者、ボランティア団体、NPO法人、企業など地域の多様な主体との連携強化を図ります。 各地区のあんしんケアセンターで地域課題の分析及び課題解決のため地域の状況に応じて開催している「地域ケア会議（年1回以上）」等において、地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会等の各種地域関係者の中で地域課題を共有し、課題解決に向けて連携・協力を図ります。 <table border="1"> <tr> <td>重点取組地区 (地区部会エリア)</td> <td>○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○緑が丘地区部会</td> </tr> </table>	重点取組地区 (地区部会エリア)	○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○緑が丘地区部会
重点取組地区 (地区部会エリア)	○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○緑が丘地区部会				

施策の方向性		具体的な取組み	
(2)	地域での連携・協力による支援と見守りを進める	⑥	地域における見守り・支え合い 《活動事例》 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会等が連携・協力し、地域の中でひとり暮らし高齢者等の要支援者が孤立することを解消するため、いきいきサロンや日常的な声かけなどによる安否確認等を行うなど、見守り活動の体制づくりを進めます。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会等が連携・協力し、日常生活のちょっとした困りごと（電球交換やごみ出し等）を近隣の住民同士で行う、支え合い活動の体制づくりを進めます。 ・地区部会や民生委員児童委員協議会などが連携・協力し、高齢者等に対して「安心カード」や「緊急医療情報キット」などを配布し、緊急時に迅速に対応できる体制づくりを図ります。
			重点取組地区 (地区部会エリア) ○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○草野地区部会 ○緑が丘地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○小中台西地区部会
(3)	地域の中の担い手、ボランティアを拡大していく	⑦	地域活動における担い手の育成 《活動事例》 ・地区部会や生活支援コーディネーター、各種活動団体などが連携・協力し、多くの住民が地域活動に関心を持ち、ボランティアの意義を理解し参加してもらえるよう、学生、若者層、勤労者層などを含めた全世代の多様な層の人々に対して、活動の担い手育成につながる働きかけを行います。 ・地区部会や町内自治会、スポーツ振興会等、各種団体がイベントなどの地域活動を実施する際、相互に連携・協力し、広報紙やSNS、声掛けなどを通じて地域活動協力者の確保に努めます。
			地域での福祉教育の普及・啓発 《活動事例》 ・地域の各種活動において、児童・生徒がボランティアとして参加できる機会を設けるなど、福祉のこころの醸成を図ります。 ・地区部会が地域住民に対して、ボランティア講座等を通じて福祉意識の向上や地域活動に関心をもってもらえるよう、福祉教育の普及・啓発を図ります。 ・各関係団体が、地域住民1人1人が地域の生活環境・福祉課題に気づき、共有し、その解決に向け協働していけるような取組みを進めます。
		重点取組地区 (地区部会エリア) ○小中台東地区部会	

施策の方向性		具体的な取組み	
(4)	身近なところで情報を得て、相談ができる地域をつくる	⑨	地域の情報の収集と発信 《活動事例》 ・地区部会や町内自治会、各種地域団体が相互に連携・協力し、会議や地域活動を通じて情報を共有するとともに、地域住民に対して、広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベント等を通じて地域に関する情報を発信します。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会、あんしんケアセンターなどが連携・協力し、地域の情報を共有する場づくりに取り組みます。 ・地区部会や町内自治会等において、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、地域活動の継続を目的としたオンライン会議を実施します。また、各種団体がオンライン会議の活用等を進められるように地域で活動する団体等が講習会を開催するなど支援体制を整えます。
			重点取組地区 (地区部会エリア)
		⑩	身近な地域の相談相手の確保 《活動事例》 ・地区部会や町内自治会が、各地区のあんしんケアセンターの協力を得て、サロン等において、介護等について気軽に相談できる出張相談会を実施するなど、相談支援体制づくりに努めます。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会など、各種団体が様々な活動を通じて地域住民と顔なじみの関係を築き、身近な相談相手となる関係づくりに努めます。

《基本方針3》 災害などに備えた安全・安心なまちづくり

施策の方向性		具体的な取組み	
(1)	災害時などの支援体制を整える	⑪	災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施 《活動事例》 ・町内自治会や自主防災会、避難所運営委員会等が、千葉市と連携・協力し、地域住民に対して、防災・避難訓練や防災講座を実施するなど、災害時に迅速な対応ができるよう支援体制の充実を図ります。 ・町内自治会が避難行動要支援者名簿を活用するなどして、地域の要支援者を把握し、災害時における安否確認等の支援体制づくりに努めます。
			重点取組地区 (地区部会エリア)

施策の方向性		具体的な取組み	
(2)	地域でできる防犯の取組みを進める	⑫	安全安心な地域づくりのための取組み 《活動事例》 ・青少年育成委員会や町内自治会、学校、商店等が連携・協力し、地域住民に対して「学校セーフティウォッチャー」や「こども110番のいえ」の協力者の確保に努めるなど、地域の防犯体制の充実を図ります。 ・地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会、警察等が連携・協力し、防犯パトロールを通じて見守りネットワークを構築するなど、住民同士による防犯体制の充実を図ります。 ・地区部会や町内自治会等が、行政や警察等の出前講座などを活用し、「特殊詐欺（振り込め詐欺など）」や「悪質商法」、「不審者対策」等の講座を行い、住民一人ひとりの防犯意識の向上を図ります。
			重点取組地区 (地区部会エリア)

稲毛保健福祉センター 高齢障害支援課



〒263-8550 千葉市稲毛区穴川4-12-4
 TEL 043-284-6141 FAX 043-284-6193
 電子メール koreishogai.INA@city.chiba.lg.jp

千葉市保健福祉局健康福祉部地域福祉課



〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
 TEL 043-245-5158 FAX 043-245-5620
 電子メール chiiki.HWH@city.chiba.lg.jp



この事業には宝くじの収益金が活用されています。